事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和02年07月01日(水)

事務事業	給水装置等管理事業	担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3925
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	水道法 深谷市水道事業地域水道ビジョン				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200002 水の安定供給と下水処理の適正化						

事業概要	安心・安全な水道水を利用していただくため、市の規定に基づく給水装置工事の申請・確認・検査及び維持管理等の指導を行う。
目的 ※何のために	給水装置の工事および維持管理などについて指導・監督を行い、水道利用者への安全な水の供給を確保する。
対象 ※誰・何を対象に	給水装置工事事業者及び水道利用者
手段 ※どのように	市の規定に基づく給水装置工事の申請・確認・検査及び維持管理等の指導を行う。
成果 ※何を求めるか	規定に基づく給水装置工事及び維持管理等が適切に行われ、安全な水道水の供給が確保できる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0

本事業の主な業務

・ 給水装置工事にかかる申請・審査・検査等	・
・ 給水台帳の管理	・
・ 指定給水装置工事事業者の指定および指導・監督	・
・ 貯水槽水道に関する指導等	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	4.62	4.96	5.31	5.31	5.31	
	人件費相当試算 ※1	35,938,980	38,598,720	41,741,910	43,265,880	43,265,880	
		0	0	0	0	0	
(総事業費試算)		35,938,980	38,598,720	41,741,910	43,265,880	43,265,880	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	給水装置工事申請件数	目標値	件							■
			実績値		1,208.00	1,159.00	1,079.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標設定不可・市の働きかけによるものでないため							
		当該年度実績									
■	活動指標２	貯水槽設置件数	目標値	件							■
			実績値		7.00	17.00	23.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標設定不可・市の働きかけによるものでないため							
		当該年度実績									
□	活動指標３	貯水槽の指導件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標：指導なし（ホームページで情報提供）							
		当該年度実績									
□	成果指標１	給水装置工事竣工検査実施率	目標値	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		竣工検査申請に対し、検査は１００％実施しているため							
		竣工検査件数／竣工検査申請数									
□	成果指標２	給水装置工事竣工検査時改善指導を行った割合	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		2.78	2.62	2.58	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標：指導なし							
		指導件数／竣工検査申請件数									
□	成果指標３	貯水槽の指導を行った割合	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標：指導なし（過去指導実績なし）							
		指導件数／貯水槽設置数									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 令和元年度の給水装置工事の承認申込み件数は１，０７９件あり、その内２３件で受水槽を設置している。 また、貯水槽に関する指導事案は特に発生していない。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 令和元年度、給水装置工事竣工検査申請のあった８９３件に対し、滞りなく検査を実施し、竣工を確認した。そのうち、提出書類や施工内容等で２３件に改善等を指導し、全て対応した。 貯水槽に関する指導はなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	給配水係　佐藤敏幸

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	給水装置工事等に伴う窓口業務は、全職員が共通の認識で業務を遂行するよう記録の整理を徹底し、情報共有を図る。 関連法令改正等に伴い必要に応じ、適宜、市条例の改正や事務の見直しを実施する。
達成状況 及び その効果	給水相談等において、重要な事項はその都度相談記録を作成し、その情報を係内で共有することで大きな問題もなく、誰でも同じ内容の指導をしている。 また、令和元年１０月１日の水道法改正に伴い、指定給水装置工事事業者の指定の有効期間が５年に定められたことから、条例等の改正や更新作業事務の調整・準備し、併せて指定工事事業者へ更新通知の発送や工事事業者研修会での情報提供を行い、周知を図った。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	給水装置等管理事業	担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3925

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

給水装置工事承認申込手続きや給水相談等は、適切に記録を管理し、滞りなく業務を遂行する。
また、指定工事事業者の更新事務を円滑に実施する。
関係法令の改正等に併せ、適宜、条例等の改正や事務の見直しを行う。

評価者	環境水道部次長　山中勉

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

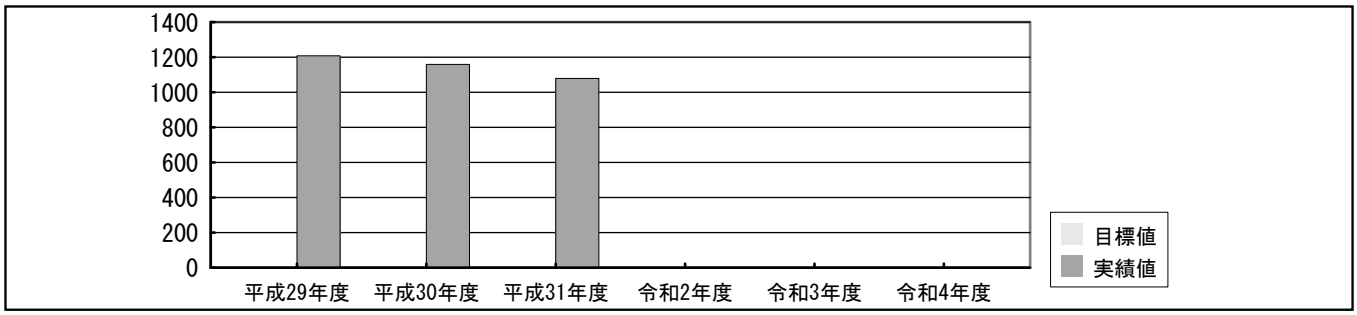
改善・改革案	給水装置工事承認申込手続きや給水相談等の記録の整理を徹底し、職員間での情報共有を図り、速やかに事務手続きを行う。 指定工事事業者の更新対象となる業者への周知を徹底し、混乱なく円滑に更新事務を行う。また、処分規定を整備し、業者等による違反行為を抑制すると共に適切な給水装置等の管理・指導を行う。 関係法令の改正等に併せ、適宜、条例等の改正や事務の見直しを行う。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

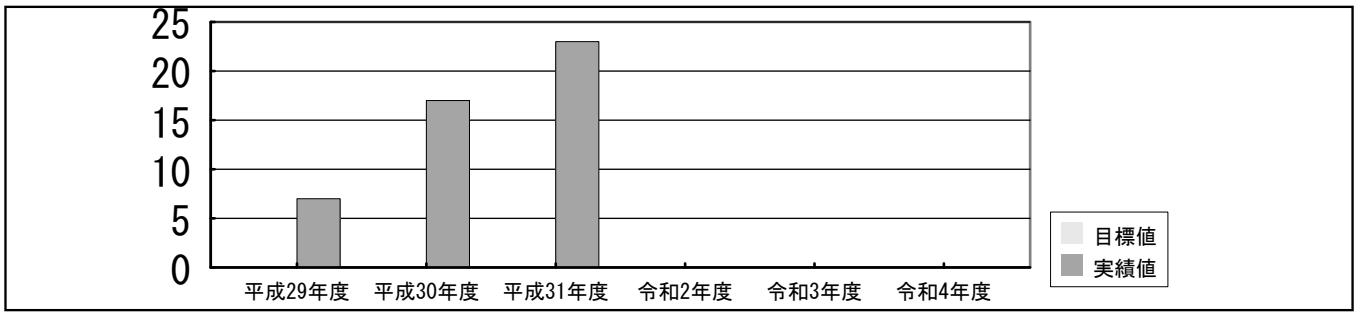
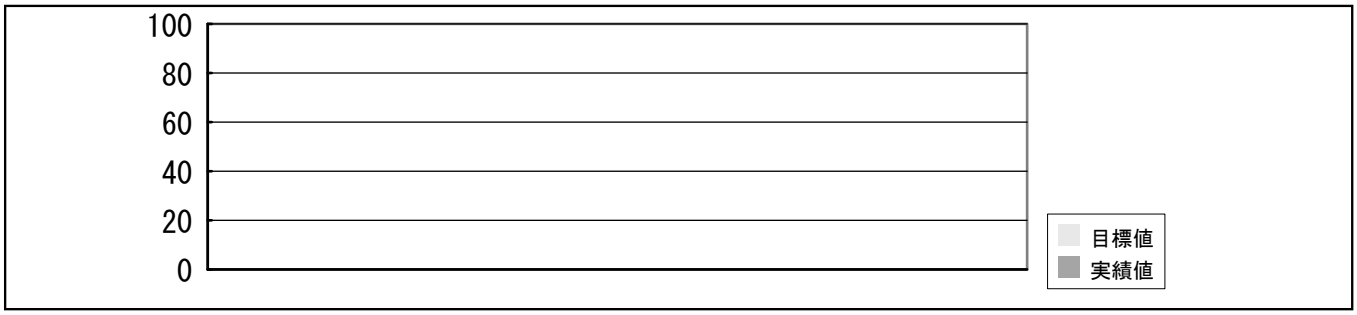
今後の課題	給水装置工事承認申込手続きや給水相談等の記録の整理を徹底し、職員間での情報共有を図り、指導の統一を図る。 また、滞りなく速やかに事務手続きを行う。 指定工事事業者の更新対象となる業者への各種通知等は、充分な周知期間を確保し、円滑に更新事務を行う。また、処分規定を整備し、業者等による違反行為の抑制を図り、適切な給水装置等の管理・指導を行う。 関係法令の改正等に伴い、適宜、条例等の改正や事務の見直しを行う。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	給水装置工事申請件数



区分	活動指標２	指標名	貯水槽設置件数



区分		指標名